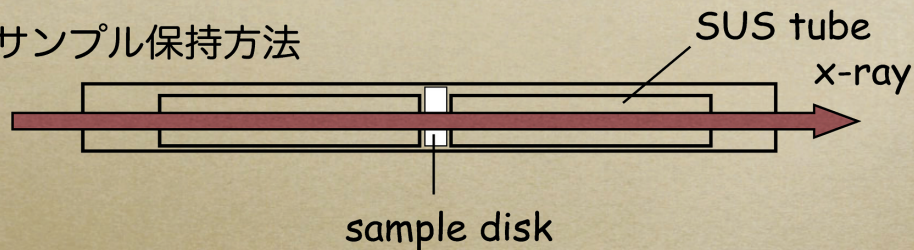


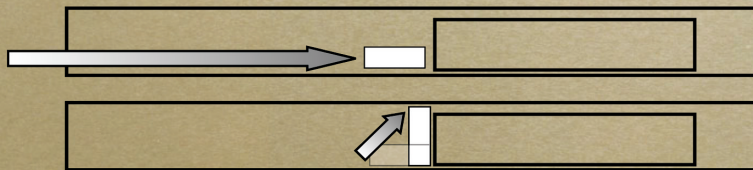
失敗など

～熱対策とセル設計～

サンプル保持方法



セッティングの手順



失敗など

～根本的なところ～

EXAFS振動の数式

$$\chi(k) = S_0^2 \sum_i \frac{N_i F_i(k_i)}{k_i r_i^2} \exp\left(-2k_i^2 \sigma_i^2 + \frac{2}{3} C_4 k_i^4\right) \sin\left(2k_i r_i + \phi_i(k_i) - \frac{4}{3} C_3 k_i^3\right)$$

Debye-Waller因子は熱的disorderと静的disorderからなっているが、
 原子分布がガウス分布から外れて非対称性が無視できない場合は、
 キュムラント展開により3次、4次の項を含めないと、見かけ上、結合
 距離が短く、配位数が小さくなる危険性がある。